

ひがし北海道地域における観光地型MaaS実証実験

(国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(観光地型))

<実証実験概要>

ひがし北海道地域において、主に旅行者による利用を想定し、WILLERS MaaSアプリにより鉄道、バス、超小型モビリティ等を組み合わせて、移動ルートの検索・予約・決済を一括して行い、観光目的地を周遊しやすくするサービスを提供。利用データなどを事後に分析して利用者のニーズを把握し、地域の関係者とともに関光地の魅力向上に活用する。

○実験期間: 2019年12月～2020年2月

※MaaSアプリは、2019年8月28日サービス開始

○参画する事業者等

WILLER(株)、JR釧路本線維持活性化沿線協議会、JR北海道、阿寒バス(株)、網走バス(株)、斜里バス(株)、くしろバス(株)、金星釧路ハイヤー(株)、(有)阿寒観光ハイヤー、(株)網走ハイヤー、(株)斜里ハイヤー、ひがし北海道自然美への道DMO、AZAPA株式会社 等

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段>

鉄道、バス(路線バス・空港バス・定期観光バス・レストランバス・シェアバス)、タクシー、レンタカー、超小型モビリティ、レンタサイクル

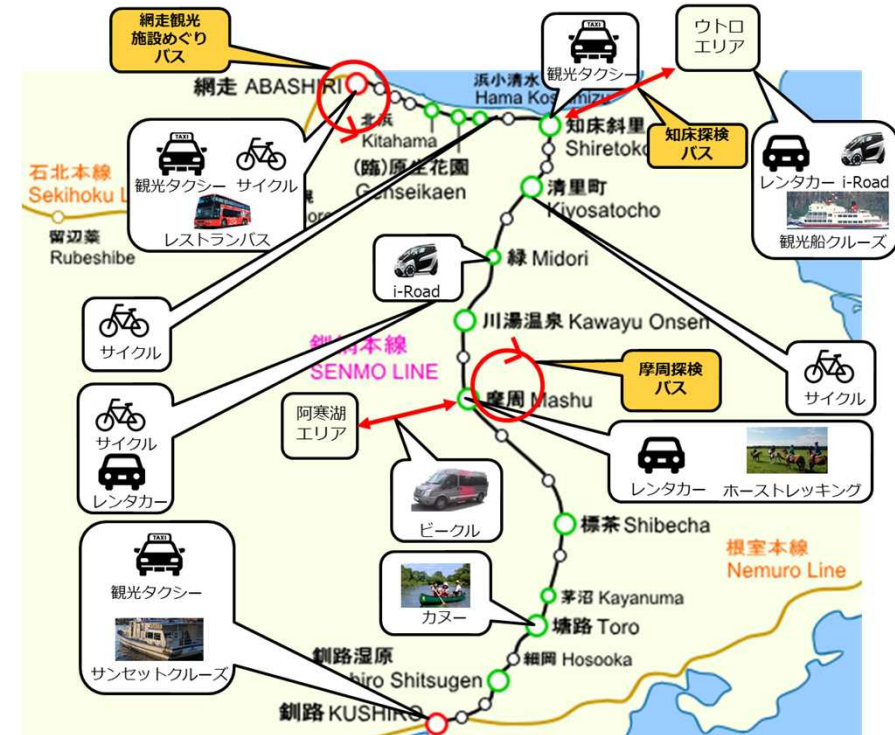
<提供するサービス>

経路検索、予約、決済

○特記事項

- ・デジタルフリーパス(ひがし北海道ネイチャーパス)販売
- ・観光ツアー、体験アクティビティ、遊覧船の予約・決済
- ・提携観光施設、商業施設で使用可能なクーポンの提供
- ・日英中3ヶ国語対応
- ・アプリや車載センサーからのデータ収集・分析

<展開エリアイメージ>



パーソナルモビリティ 「i-ROAD」

・トヨタ自動車の超小型電気自動車(1～2人乗り)



レストランバス

・1階がキッチン、2階がレストランルーム。現地の景色を堪能できる。



※冬期は利用可能なモビリティに変更あり